5月

みんぱくウィークエンド・サロン

研究者と話そう

■ 14 時 30 分から 15 時 30 分
■展示観覧料が必要です。
※都合により、予定を変更することがあります。

国立民族学博物館（みんぱく）の研究者が来館された皆様の前に登場します！
「研究について」「調査している地域（国）の最新情報」「展示資料について」など、話題や内容は実に多彩。
どんどん質問をおよせください。展示場でお待ちしております。

12日（日曜日）
話者：川瀬慈（国立民族学博物館 助教）
話題：マダガスカルの無形文化遺産ザフィマニリ彫刻の映像記録
会場：本館展示場内ナビひろば

19日（日曜日）
話者：森山工（東京大学 教授）
話題：マダガスカル農村部の日常生活と墓制
会場：本館展示場内ナビひろば

26日（日曜日）
話者：飯田卓（国立民族学博物館 准教授）
話題：マダガスカル展　もうひとつの準備現場
会場：特別展示館

編集後記

本館展示「日本の文化」の展示づくりでは、私もキャプションの英訳や解説文の校正をお手伝いした。その作業をとおして痛感したのは、日本人である自分がいかに日本のことを知らないかということと、文化の翻訳の難しさである。「御幣」や「けずりかけ」、「おしらさま」を一体なんと英訳したらいいのか？　そもそも御幣って何か、小さなこどもや外国人に説明できるか？　単に*gohei*とローマ字化しても、予備知識のない外国人には意味がない。かといって、機能や使用の文脈を懇切丁寧に伝えようとすると、えらく冗長な訳語になり、キャプションには適さない。結局、「儀礼用棒」というような意味の、愛想のない訳語が落としどころになってしまう。この舞台裏の葛藤を外国人の研究者たちに話したところ、「そのローカルな用語と訳語のズレがおもしろいのです」と言ってくれた。このズレが生み出す違和感に、異文化理解・自文化理解を促すさまざまなコミュニケーションの可能性が秘められているのである。
みんぱくは世界の諸文化との相対において日本を見直す貴重な場である。知っているようで知らない日本を発見しに、ぜひご来館を。（山中由里子）

●表紙：仮面（メンドン）　標本番号：H0270238
地域：日本、鹿児島県 硫黄島

次号の予告

特集
食べない食べもの、食べられない食べもの（仮）

月刊みんぱく　2013 年 5 月号
第 37 巻第 5 号通巻第 428 号　2013 年 5 月 1 日発行

編集・発行　人間文化研究機構 国立民族学博物館
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1
電話　06-6876-2151

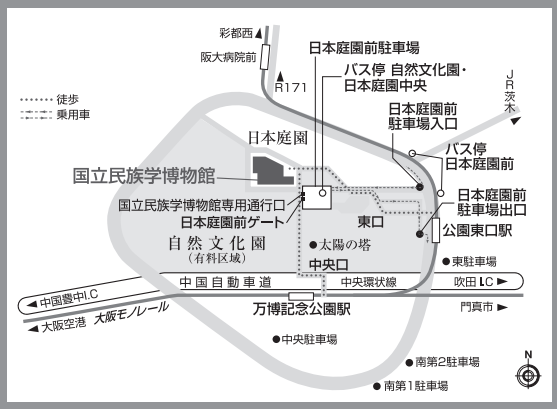
発行人　八杉佳穂
編集委員　山中由里子（編集長）　樫永真佐夫　久保正敏　庄司博史　菅瀬晶子　丹羽典生　野林厚志
編集アドバイザー　山内直樹
デザイン　宮谷一款
制作・協力　一般財団法人 千里文化財団
印刷　日本写真印刷株式会社

＊本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係にお願いします。
＊本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

1年間みんぱくに何度でも入館できる「みんぱくフリーパス（3,000円）」をご利用ください。

本館展示は何度でも無料で入館できます。他にも、みんぱくを楽しむための特典がいっぱいです。

特典◆本館展示の無料入館◆特別展示の観覧料割引
◆みんぱくミュージアム・ショップとレストランの10%割引
◆万博記念公園内および周辺施設での利用割引　など。
詳細については、一般財団法人千里文化財団までお問い合わせください。
（電話06−6877−8893／平日9：00 ～ 17：00）



交通案内
●大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分
●阪急茨木市駅・JR茨木駅・北大阪急行千里中央駅からバスで「日本庭園前」下車、徒歩約15分（茨木方面からは、もっとも近い「自然文化園・日本庭園中央」バス停で下車できるバスが1時間に1本程度あります。詳しくは阪急バスにお問い合わせください）。
●自家用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」（有料）から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。
●タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れできます。

みんぱくホームページ
http://www.minpaku.ac.jp/